

## D I ニュース

薬剤部 薬品情報係

## 新規採用医薬品通知

(薬品名)	オゼックス細粒小児用 15%	市販直後調査 平成 22 年 1 月～平成 22 年 7 月
(英名)	OZEX fine granules 15% for pediatric	
(規格・含有量)	1g 中にトスフロキサシントシル酸塩水和物 150mg を含有する	
(一般名)	トスフロキサシントシル酸塩水和物	
(メーカー名)	大正富山	
【薬価収載日】	2009 年 12 月	
【薬価】	557.20 円/1g	
【薬効コード】	876241	
【薬効分類名】	ニューキノロン系経口抗菌薬	
効能・効果	<p>〈適応菌種〉トスフロキサシンに感性の肺炎球菌(ペニシリン耐性肺炎球菌を含む)、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、炭疽菌、コレラ菌、インフルエンザ菌</p> <p>〈適応症〉肺炎、コレラ、中耳炎、炭疽</p> <p>インフルエンザ菌には <math>\beta</math>-ラクタム耐性インフルエンザ菌を含む。</p>	
用法・用量	<p>通常、小児に対してはトスフロキサシントシル酸塩水和物として 1 日 12mg/kg(トスフロキサシンとして 8.2mg/kg) を 2 回に分けて経口投与する。</p> <p>ただし、1 回 180mg、1 日 360mg(トスフロキサシンとして 1 回 122.4mg、1 日 244.8mg)を超えないこととする。</p>	
禁忌	<p>1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>2. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人</p> <p>ただし、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人に対しては、炭疽、コレラに限り、治療上の有益性を考慮して投与すること。</p>	
相互作用	<p><b>他剤副作用増強</b> テオフィリン アミノフィリン水和物 コリンテオフィリン</p> <p><b>本剤副作用増強</b> フェニル酢酸系、プロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛剤</p> <p><b>本剤作用減弱</b> アルミニウム又はマグネシウム含有の制酸剤、鉄剤、カルシウム含有製剤</p>	
副作用	<p><b>重大な副作用</b> ショック、アナフィラキシー様症状(呼吸困難、浮腫、発赤等)、中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)、痙攣、意識障害(意識喪失等)、急性腎不全、間質性腎炎等の重篤な腎障害、肝機能障害、黄疸、無顆粒球症、血小板減少、偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎、発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部 X 線異常、好酸球増多等を伴う間質性肺炎、好酸球性肺炎等、急激な腎機能悪化を伴う横紋筋融解症、低血糖 (類薬)アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害</p>	

(薬品名)	ホスレノールチュアブル錠 250mg
(英名)	Fosrenol Chewable Tablets 250mg
(規格・含有量)	250mg/錠 1 錠中にランタン 250mg(炭酸ランタン水和物として 477mg)を含有する
(一般名)	炭酸ランタン水和物
(メーカー名)	バイエル薬品
【薬価収載日】	2008 年 12 月
【薬価】	194.10 円/錠
【薬効コード】	87219
【薬効分類名】	高リン血症治療剤
効能・効果	<p>下記患者における高リン血症の改善</p> <p>透析中の慢性腎不全患者</p>
用法・用量	<p>通常、成人にはランタンとして 1 日 750mg を開始用量とし、1 日 3 回に分割して食直後に経口投与する。以後、症状、血清リン濃度の程度により適宜増減するが、最高用量は 1 日 2,250mg とする。</p>
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
相互作用	<p><b>他剤作用減弱</b> ①テトラサイクリン系抗生物質(テトラサイクリン、ドキシサイクリン等) ②ニューキノロン系抗菌剤(レボフロキサシン水和物等)</p>
副作用	嘔吐、悪心 等
備考	食事の直後に噛み砕いて服用する

(薬品名)	シムビコート タービュヘイラー 60 吸入	市販直後調査 平成 22 年 1 月～平成 22 年 7 月
(英名)	Symbicort Turbuhaler 60doses	
(規格・含有量)	1 回吸入量(容器から放出される量)中ブデソニド 160 $\mu$ g、ホルモテロールフマル酸塩水和物 4.5 $\mu$ g を含有する	
(一般名)	ブデソニド/ホルモテロールフマル酸塩水和物吸入剤	
(メーカー名)	アステラス製薬	
【薬価収載日】	2009 年 12 月	
【薬価】	5,836.40 円/1キット	
【薬効コード】	87229	
【薬効分類名】	ドライパウダー吸入式喘息治療配合剤	
効能・効果	気管支喘息(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入 $\beta_2$ 刺激剤の併用が必要な場合)	
用法・用量	通常、成人には、1 回 1 吸入(ブデソニドとして 160 $\mu$ g、ホルモテロールフマル酸塩水和物として 4.5 $\mu$ g)を 1 日 2 回吸入投与する。なお、症状に応じて増減するが、1 日の最高量は 1 回 4 吸入 1 日 2 回(合計 8 吸入:ブデソニドとして 1280 $\mu$ g、ホルモテロールフマル酸塩水和物として 36 $\mu$ g)までとする	
禁忌	1.有効な抗菌剤の存在しない感染症、深在性真菌症の患者 2.本剤の成分に対して過敏症(接触性皮膚炎を含む)の既往歴のある患者 原則禁忌 結核性疾患の患者	
相互作用	<b>本剤作用増強</b> CYP3A4 阻害剤(イトラコナゾール等) <b>他剤作用増強</b> カテコールアミン(アドレナリン、イソプレナリン等) <b>他剤副作用増強</b> ①キサンチン誘導体(テオフィリン、アミノフィリン等)②全身性ステロイド剤(プレドニゾン、ベタメタゾン等)③利尿剤(フロセミド等) <b>本剤作用減弱</b> $\beta$ 遮断剤(アテノロール等)	
副作用	<b>重大な副作用</b> アナフィラキシー様症状 重篤な血清カリウム値の低下 <b>その他</b> 嘔声	
備考	ステロイド配合により吸入後、うがいを施行	

## 削除医薬品通知

● <u>5月6日より</u>		
・アルボ錠 200mg	…削除	
・アコレート錠 20mg	…削除	
● <u>6月1日より</u>		
・スタドール注 2mg/1mL	…販売中止のため削除	

## 適応追加通知

レミケード点滴静注用 100	<b>強直性脊椎炎</b> 通常、体重 1kg 当たり 5mg を 1 回の投与量とし点滴静注する。初回投与後、2 週、6 週に投与し、以後 6～8 週間の間隔で投与を行うこと。
ラキソベロン内用液 0.75% 10mL	<b>手術前における腸管内容物の排除</b> 通常、成人に対して 14 滴(0.93mL)を経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

**医薬品変更通知**

今回採用医薬品（採用）	従来採用医薬品（削除）
● <u>5月10日より</u> ・硫酸 Mg 補正液 1mEq/mL 20mL ・リン酸二カリウム補正液 1mEq/mL 20mL	コンクライト Mg 液 20mL コンクライト PK 液 20mL